

主な訪問先等とその概要

① 工業技術研究院

台湾政府経済部（日本の経済産業省に相当）の直轄研究所を前身とし、工業技術の発展促進、新しい科学技術に基づく産業の創立、産業技術水準の向上などを目的とする財団法人の研究所。研究開発分野は、電子情報・通信分野からナノテクノロジー、材料技術、バイオメディカルテクノロジー、先進製造システム、環境・エネルギー技術にまで及ぶ。

② 日台産業交流意見交換会

海外への新規展開及び販路拡大を目指す県内企業と、本県企業の技術・製品に関心を抱く台湾企業との提携に向けた意見交換を行う。

③ 日台観光経済交流会

今回、訪問させていただく台湾政府関係者や台湾企業及び観光事業者の方々と今回の訪台ミッション団のメンバーとの交流の場として三重県が主催。会場では県産品を提供し輸出促進に向けたきっかけづくりを行う。

④ 台湾政府経済部及び亜東関係協会

台湾政府の経済部は、日本の経済産業省に相当する組織。台湾政府は、「台日産業連携架け橋プロジェクト」のもと、平成24年3月、経済部に「台日産業連携推進オフィス」を新たに設置し、台日の産業連携を推進する動きを加速させ、台湾企業と日本企業間の連携強化を促進する取組を進めている。

亜東関係協会は、台湾政府外交部所管の非政府機関として対日窓口の機能を果たしており、実質的な駐日大使館である台北駐日経済文化代表処の台北本部となっている。

⑤ 太平洋SOGO百貨店（太平洋そごう）

台湾に9店、中国大陸に10店を展開する台湾・台北に本社を置く百貨店チェーン。一店舗あたりの売上額は、台湾内でトップクラスの百貨店で、若者からお年寄りまでとても人気があり、台湾の流行発信基地となっている。

⑥ 2012日台観光サミット

ア 経緯

日台双方の旅行会社、航空会社、観光業界団体等のトップが集まり、日台観光の現況報告と今後に向けた交流拡大方策の意見交換を行うための会議。

2008年に台湾の台北市で開催されてから、日台で交互に開催。4回目となる昨年は石川県で開催された。

イ 主催団体

a (社) 日本観光振興協会

日本の観光振興に関する中枢機関（ナショナルセンター）として、我が国観光の振興を総合的に図るための各種事業を行うことにより、観光立国の実現、地域経済及び観光産業の発展並びに国民の生活及び文化の向上に寄与するとともに、国際親善に資することを目的としている団体。会員は全国約 800 の観光関係者により構成されており、その範囲も地方公共団体、観光協会、観光関係中央団体、鉄道、航空、観光関連企業等。会長は(株)東芝取締役会長の西田厚聰氏。（協会HPより）

b (社) 日本旅行業協会

旅行需要の拡大と旅行業の健全な発展を図るとともに、旅行者に対する旅行業務の改善並びに旅行サービスの向上等を図り、併せて会員相互の連絡調整につとめ、旅行の促進と観光事業の発展に貢献することを目的としている団体。会員は正会員（旅行業者）約 1,100 社、協力会員（正会員以外の旅行業者及び旅行業者代理業者）約 500 社などで構成。（協会HPより）

c 台湾観光協会

1956年に創立された非営利の団体。台湾の旅行関係の協会の中で最も長い歴史があり、外国観光客の送客（アウトバンド）及び誘客（インバンド）の両方を対象としている。民間観光事業協会、航空会社、観光旅館業、旅行業、台湾地区の各観光社団、マスコミ出版及び広告業、情報業等の 300 以上の会員で構成。（協会HPより）